

平成12年度事業報告書

(自：平成12年4月1日 至：平成13年3月31日)

1・国際会議・学術講演大会・展示会等の開催（定款第4条第1号関係）

(1) 国際会議 2000 IEMT / IMC Symposium の開催

IEEE CPMT Japan Chapter と共催で第4回目の国際会議を4月19日～21日の3日間、埼玉県大宮ソニツクシティにおいて開催。「新たなるミレニアム（千年紀）に向けたマイクロエレクトロニクス実装」をテーマに海外29件を含む82件の論文発表（一般発表73，招待講演4，セッション招待5）国際交流会開催。優喬論文賞5件と若い層への賞2件を表彰。論文集（A4判・453頁）参加者数338名（内、海外70名）

(2) 第14回マイクロエレクトロニクスショー（14th ME Show）の開催

4月19～21日、「実装技術の新ミレニアムを拓く先端実装技術，基板，部品，材料，装置の総合技術展」と称して，IEMT / IMC Symposium と同会場において開催。出展社数66社，80小間，製品技術説明会参加社数34社・聴講者数3,496名，展示会来場者数16,683名。

(3) 第15回エレクトロニクス実装学術講演大会の開催

3月21日～23日の3日間 神奈川県横浜市金沢区の関東学院大学金沢キャンパスにおいて開催。依頼講演21件・一般講演152件で計173件の講演発表が行われた。論文集（A4判・344頁）参加登録者数1,160名。

(4) 先端残術セミナーの開催

JPCA ショー特別セミナー

6月7日～9日の3日間，東京ビッグサイト会議室において「21世紀の情報化時代を担う最新高速実装技術」をテーマに17件の講演で開催。参加者数429名。

第27回定例セミナー

「鉛フリーはんだ実装の製品展開と課題」をテーマに10月27日，東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。講演件数7件。参加者数141名。

第28回定例セミナー

「最先端実装における最新めっき技術」をテーマに2月27日，東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。講演件数7件。参加者数188名。

(5) 第10回マイクロエレクトロニクスシンポジウム（MES 2000）の開催

11月9日～10日，大阪府吹田市・大阪大学銀杏会館（吹田キャンパス）において開催。「21世紀新実装時代へのプロローグー創造技術と要素技術」をテーマに21件の論文発表（一般発表85，招待講演3）が行われた。論文集（A4判・362頁）発行。参加者数581名。

(6) 低温鉛フリーはんだ実装技術開発プロジェクトシンポジウムの開催

3月9日，東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催。「Sn-Zn系鉛フリーはんだの実用化」をテーマに6件の講演とパネル討論が行われた。参加者数173名。

2・調査・研究活動（定款第4条第2号関係）

(1) ワークショップの開催

2000 ワークショップ（修善寺）の開催

9月7日～8日の1泊2日で、ラフォーレ修善寺第一研修館において開催。「21世紀のシステムをリードするハイパフォーマンス実装」をメインテーマとし、サブテーマに“デジタル革命を牽引する実装技術”と題し、32件の発表（ポスターセッション）。懇親会開催。参加者数126名。

関西ワークショップ2000の開催

12月1日、京都府中京区、コープ・イン・京都において開催。「21世紀への挑戦 - 実装イノベーションの本命は？ -」をテーマに、19件の発表（ポスターセッション）と技術討論会開催。参加者数96名。

(2) 公開研究会の開催

材料技術研究討論会の開催

・第8回研究討論会 4月18日：国立オリンピック記念青少年総合センター会議室

”21世紀に向かう材料技術の動向”講演7件、参加者数97名。

・第9回研究討論会 11月8日：国立オリンピック記念青少年総合センター会議室”21世紀の情報化時代を担う半導体パッケージング技術動向”講演6件、参加者数126名。

最新検査技術討論研究会の開催

・第5回 6月8日：東京ビッグサイト会議室”進展する新しい検査技術の応用”講演5件、参加者数25名。

電磁特性技術委員会公開研究会の開催

・6月7日二東京ビッグサイト会議室”エレクトロニクス実装におけるEMC技術”講演5件、参加者数94名。

3. 普及・啓発活動（定款第4条第3号関係）

(1) 教育講座「実装技術 - 基壇編」

5月23日～24日 学会地下会議室 受講者数49名

(2) PWB製造技術講座

・入門コース

6月22日～23日 学会地下会議室 受講者数50名

・中級コース

7月12日～13日 学会地下会議室 受講者数69名

(3) 技能検定設計実技講習会

11月28日～29日（1泊2日） アンリツ研修センター 受講者26名。

4. 情報収集及び提供活動（定款第4条第4号関係）

(1) 「エレクトロニクス実装学会誌」の発行

Vol.3-No.3～7, Vol.4-No.1～2の計7冊を発行。内、Vol.3-No.5は臨時増刊。総頁数618頁。

(2) 海外関係団体出版物の頒布を行い、海外の技術情報を提供

・IMAPS 2000 論文集及びIMAPS USA 機関誌

・IMAPS ヨーロッパ機関誌

5. 内外機関等との交流・協力活動（定款第4条第5号関係）

(1) International Meeting の開催

4月20日 (IEMT / IMC Symposium 開催2日目), 海外から参加の各国代表者と情報交換を行う。

(2) 日韓共同実装技術セミナーの開催

10月26日, IMAPS Korea および SETEC (韓国半導体装置センター) と共催でソウル・Seoul Exhibition Trading Center において開催。講演10件 (日本5件, 韓国5件), 参加者数400名。

(3) IMAPS 2000 国際会議開催に協力

9月18日~22日, 米国ボストンにおいて開催された国際会議・展示会に学会企画視察団を派遣するとともに, 現地セミナーを開催。また, 関連工場見学や IMAPS 各国代表者との情報交換を実施。参加者数14名。

(4) エコデザイン 2000 ジャパンシンポジウム開催に協力

エコデザイン学会連合主催の標記シンポジウムの開催に協力。

(5) 2000 JPCA ショー開催を後援

6月7日~9日, 東京ビッグサイトにおいて開催の2000 JPCA ショーを後援した。

(6) 関連学協会の各種事業に協賛

【協賛】

日本ロボット工業会

「実装プロセステクノロジー展」 12月13日~15日 幕張メッセ

日本電子機械工業会

「SMT / PROTEK フォーラム 2000」 12月13日~15日 幕張メッセ

電気学会

「平成13年電気学会電子・情報・システム部門大会」 9月6日~7日 流球大学

日本溶接協会

「鉛フリーはんだ規格化のための研究開発プロジェクト成果報告発表会」 6月22日 芝浦工業大学

長野県テクノハイランド開発機構

「マイクロファブリケーション研究会研究成果報告会」 3月9日 メルバルク長野

溶接学会

「第5回 エレクトロニクス実装における環境問題シンポジウム」 10月14日 芝浦工業大学

日本時計学会

「2000年秋季マイクロメカトロニクス学術講演会」 9月8日 中央大学

日本時計学会

「2001年春季マイクロメカトロニクス学術講演会」 2月16日 中央大学

溶接学会

「エレクトロニクス実装における環境問題シンポジウム」 7月12日 千里ライフサイエンスセンター

電子情報通信学会

「第4回システム LSI 琵琶湖ワークショップ」 11月27日~29日 ラフォーレ琵琶湖

電気化学会

「2000年電気化学会関東支部セミナー」 11月17日 慶應義塾大学

日本金属学会

「セミナー 鉛フリーはんだ実装の基礎と技術」 3月27日 千葉工業大学

ASP-DAC 2001 実行委員会

「アジア南太平洋設計自動化会議 2001」 1月30日～2月2日 パシフィコ横浜

日本能率協会

「2001 熱設計・対策技術シンポジウム」 4月24日～26日 幕張メッセ

表面工学国際会議組織委員会

「表面工学国際会議 (FSE2001)」 2001年10月28日～11月1日 名古屋国際会議場

電気化学会

「第36回境界領域における電気化学セミナー」 2000年8月25日 機械振興会館

化学工学会

シンポジウム「高速化に対応した新しい超微細回路形成プロセス」 8月25日 住友ベークライ
ト

レーザ熱加工研究会

「第2回レーザ精密微細加工国際シンポジウム LPM2001」 5月16日～18日 Data Storage
Institute (シンガポール)

6. 会員名簿の発行

合併後、初めての「会員名簿」を13年1月に発行し、全会員に配布。A4判, 191頁。